

## 作業療法 第41巻 第3号 (通巻228号) 目次

### ◆巻頭言

研究の公表責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐々木 努 265

### ◆原著論文

回復期リハビリテーション病棟における認知症および認知症疑いのある運動器疾患患者の転帰先に関わる影響因子・・・・・・・・・・・・・・・・横山 雄一・他 267

「生活行為相互作用評価表 (試作版)」の開発

—論理的妥当性と表面的妥当性の検討—・・・・・・・・・・佐藤晃太郎・他 276

脳卒中患者が回復期病棟入院中に抱く退院後生活の認識の変容プロセス

—複線径路等至性アプローチの分析から—・・・・・・・・相原 彩香・他 285

人間作業モデルを用いた作業療法実践の構造

—計量テキスト分析を用いた文献研究—・・・・・・・・川原 宇央・他 294

通常学級に在籍する学校適応に困難のある中学生の語り

—日本版青年・成人感覚プロフィールとインタビューより—・・・・黒川 飛鳥・他 305

回復期の脳卒中上肢機能訓練における信念対立の質的解明

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・廣瀬 卓哉・他 315

### ◆実践報告

認知機能低下を呈した脳卒中者に対する Cognitive Orientation to daily Occupational Performance (CO-OP) を用いた実践・・・・・・・・秋山 大輔・他 325

視覚入力による固有感覚の仮想的脳内反復付与は脳梗塞後の運動失調に影響するか？

—シングルケースによる探索的検討—・・・・・・・・廣瀬 卓哉・他 333

作業機能障害に焦点を当てた介入がリハビリに前向きな変化を及ぼした統合失調症の一事例・・・・・・・・葛岡 哲・他 340

軽度上肢麻痺を呈した回復期脳卒中患者に対する持続的神経筋電気刺激下の促通反復療法と Transfer Package の併用治療を実施した一例・・・・・・・・黒木 一気・他 348

医療観察法病棟での生活能力訓練の実践・・・・・・・・鬼頭 亜希・他 356

橋出血後に残存した姿勢制御機能障害に対し、前庭リハビリテーションを導入して意味のある作業の獲得に至った事例・・・・・・・・森 大宙・他 363

交通心理学的なコーチングを用いたセカンドオピニオンの脳卒中後症例の運転再開経験・・・・・・・・外川 佑・他 372

### ◆短報

Occupational Gaps Questionnaire (作業ギャップ質問票) 日本語版の作成と言語的妥当性の検討・・・・・・・・見須 裕香・他 380

## 編集後記

▶本誌の全論文に目を通す人はどのくらいいるでしょうか。論文を読み理解するためには自身の興味と研究法の知識が不可欠ではないかと思っています。興味がない分野の論文には目を通さない、という人にも是非、“〇〇を明らかにするためにはどんな研究手法を用いているのだろう”という視点で見返してほしいと思います。本誌では影響因子を明らかにするための分析方法、妥当性を検討するための研究手法、インタビューの分析方法など様々な研究手法が駆使されています。作業療法の研究論文をより身近に感じてもらえることを期待します。(C・I)

▶多様性(ダイバーシティ)は「互いに非常に異なる多くの人や物の集まり」と定義され、SDGsを実現するうえで大事なキーワードといわれている。SDGsの中に多様性というゴールはないが、SDGsの考え方の基盤に多様性の尊重があるとされている。本誌に掲載された論文から、作業療法研究の方向性を認識できると思うが、研究の多様性といった観点から、本号に掲載された論文を概観すると、研究テーマや研究スタイル・デザイン、どれをとっても違いがあり、そして、作業療法学の発展に寄与する、読み応えのある論文が掲載されている。掲載論文を通して、作業療法研究は益々、拡がりや深みを増しているように感じる。(S・H)